

オレゴン州：小麦作柄及び気象状況

2002年4月16日

この一週間は、全州に於いて気温は平年を多少上回り、農作業可能日は5日間であった。各地で降水が記録されたが、カスケード山脈の東側ではより多くの降水を必要としている。北中央部の小麦地帯の昨年9月1日から2002年4月14日までの降水量は、平年の69~84%である。春小麦の播種は全州に於いて最終段階に入っている。ウイラメット地区の土壤水分は略全域で適であり、冬小麦の状態は良好である。

2002年産冬小麦の作付け面積は、2001年産(75万エーカー)を7%程上回り80万エーカーと発表されている。2002年産春小麦の作付け面積は98万エーカーと予想され、昨年の93万エーカーを5%上回っている。

2002年4月14日現在:

土壤水分状況:

シャーマン郡では80%の圃場が水分不足を報告している。モロー郡では0.2インチの降水を記録したが、9月からのシーズンの降水量計では平年より2.77インチ少ない。

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	8	27	57	8
Subsoil (%)	10	21	64	5

小麦作柄:

ウマティラ郡の冬小麦は、20%がPoor、30%Fair、50%Goodと報告されている。シャーマン郡の小麦は、15%Poor、85%Fairであり、5年平均を下回る生育状況である。

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	10	15	32	41	2
Spring wheat (%)	na	na	na	na	na

作物進捗状況:

シャーマン郡では春小麦圃場の80%が播種され、内60%で出芽している。

	This week	Last week	Last year	5-yr Ave.
Spring wheat Planted (%)	85	81	88	na
Emerged (%)	48	29	52	na
Winter wheat Jointing (%)	na	na	na	na

Source: Oregon Agricultural Statistics Services